

委員長まとめ

2月に執り行われた市議会議員選挙では、1971年に1選挙区制になって以降初めて無投票になりました。これをきっかけに4月に全議員による「議員定数検討会」を立ち上げ、「本市の人口、財政規模を考慮した議会の審議に必要な議員定数は何人なのか」の検討をはじめました。検討の中で、市民の代弁者である議員の定数変更は皆さまからご意見を伺うべきとの議論により6等のとう、今年度のテーマを「これからの瑞浪市議会～議員定数について～」としました。

8月21日（月）に本市の経済界の代表である商工会議所役員の皆さまにご参加いただき議会広聴会を開催しました。今後の議員定数にかかると、これからの瑞浪市議会に期待することについて、経営者の視点での議員定数についてのご意見やこれからの市の活性化のために議会が取り組むべき課題についてのご意見をいただきました。

また、8月26日（土）の議会広聴会は、小中学校PTA役員、市内中学生保護者、消防団、JC等の子育て世代に参加要請をおこない26名に参加いただきました。「休日の開催の方が参加しやすい。」とのアンケート結果等により土曜日としましたが、夏祭り等を考慮したため小中学生の夏休み最後の土曜日の開催となってしまい申し訳ありませんでした。子育て世代の皆さまからは「議会の活動を知らないのだから議員定数はわからない。若者が市政や議会に関心を持てるような工夫を。」等のご意見が多い一方、「市民と議員が同一の場で意見交換をすることは重要。」等のご意見もいただきました。子育て、仕事等で忙しい中、時間の負担をかけることなく若い世代の皆さまからご意見をいただく機会を検討していく必要があると考えています。

9月29日（金）の議会報告会は、広報紙の紙面上、地区回覧、ホームページ上での開催案内により皆さまに広く周知して開催しました。また、地域で活躍されている各地区区長会、まちづくり協議会に参加要請をおこなうことで、69名の方にご参加いただきました。皆さまからは「議員定数は人口減少に伴うべき」「議員定数を削減しても担い手不足の現状は変わらないのでは」「若者が興味を持つ魅力ある議会審議と成果を」等のご意見をいただきました。議会と議員の活動に注視いただいていることに感謝申し上げるとともに、皆さまから信託を受けられる議員、皆さまに期待される機能が発揮できる議会を目指してまいります。

最後に、今年度のテーマは市議会自体の問題であり、議会の考えを求めたくなる傾向にあったと思います。皆さまからご意見を頂戴するための開催でしたので、先入観を持たせないために議会や議員の考えをお伝えしないようにしたため、満足いかなかったとのご意見も頂戴しました。議会で参加される皆さまの視点に立っての進行を準備できなかったことをお詫び申し上げます。その中、皆さまから議員定数についてのご意見のほか、議員に対する叱咤激励、議会への要望や意見を頂戴し、議員一人ひとりが理想を持ち議会が目指すべき姿を確認しました。市議会としましては、皆さまからいただいたご意見が市政にどのように反映されるのかを目に見える形にすることで、市民の皆さまの議会への参画意欲を高めることに繋がっていきたいと考えています。

広報広聴委員長 柴田幸一郎